



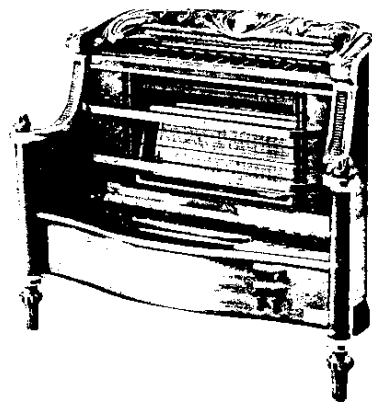
大阪ガス

ガス 赤外線ストーブ

取扱説明書 43-613型

保証書付

形式の呼び
R-870AMS-101



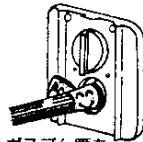
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	●541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
神 戸 支 社	●557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0001
北 京 支 社	●532	大阪市淀川区十三丁目3丁目6番34号	☎大阪 06 (301) 1251
堺 支 社	●590	堺市住吉南町2丁目2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北 摂 支 社	●569	茨城県市南の堂39番5号	☎高槻 0726(71) 0361
阪 神 支 社	●662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(24) 3101
東 岡 支 社	●578	東大阪市市場東2丁目3番12号	☎河内 0729(62) 1131
泉 南 支 社	●573	吹田市西田宮町15番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神 戸 支 社	●650	神戸市中央区相生町5丁目3番10号	☎神戸 078(574) 5231
東 部 支 社	●674	京都市中京区丸太町地蔵堂町358	☎京都 075(231) 8151
東 南 支 社	●631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和 歌 山 支 社	●640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫 路 支 社	●670	姫路市海屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
東 海 支 社	●675	名古屋市昭和区葵東29-1	☎名古屋 0794(21) 1401
東 岡 支 社	●668	豊田市三坂町6丁目57番地	☎豊田 07982(3) 2221
湖 南 支 社	●525	名古屋市分府町字松崎 680の1	☎豊田 0775(62) 5311
藤 岡 支 社	●522	藤岡市大塚町9番41号	☎藤岡 0749(22) 3131
(長 浜 営業所)	●526	長浜市南浜町3番4号	☎長浜 07496(2) 7171

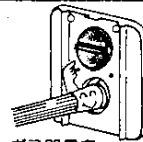
その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
ガッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
お部屋の元せんも
閉める習慣を



ガス器具は
ガスの種類
にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス赤外線ストーブ
をお求めいただきありがとうございました。

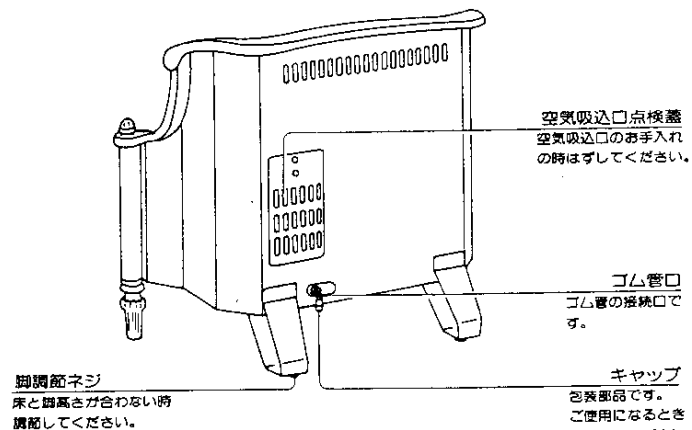
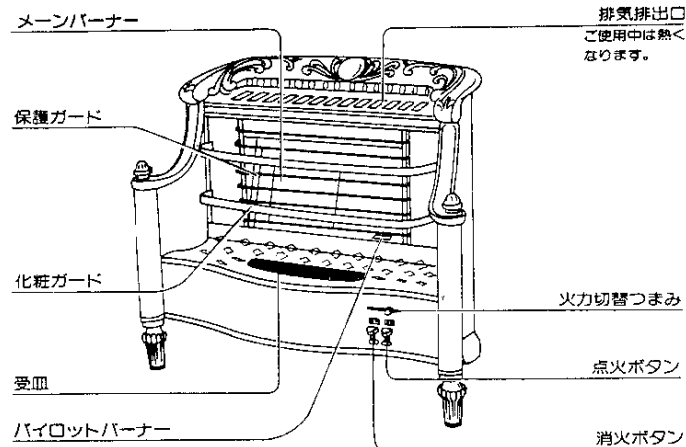
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」
を大切に保存してください。

もくじ

- 各部の名称..... 1
- 特に注意していただきたいこと..... 2
- 器具の設置..... 8
- 使用手順..... 10
- 使用時のご注意..... 13
- 日常の点検・お手入れ..... 14
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 16
- アフターサービスのお申し込み..... 17
- 長期間使用しない場合..... 18
- 特長..... 18
- 寸法図と仕様一覧..... 19

各部の名称

この器具は電池式連続放電点火式を採用していますので乾電池が必ず必要です。
くわしくは15ページ「部品の交換」をご覧ください。



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
ガス器具本体の右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているか確かめてください。

（銘板）

メーカー型式

ガスの種類およびグループ

ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

- 都市ガス
6C・6A用
- 都市ガス
13A用

- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

用途についてのご注意

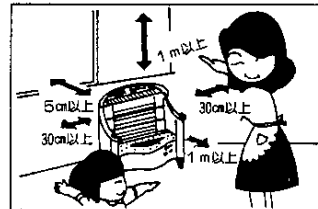
- 暖房以外の用途（洗たく物の乾燥など）には使用しないでください。
衣類など器具の上に置いたり、掛けたりしないでください。器体上部からは、排気熱が出ますので熱くなります。



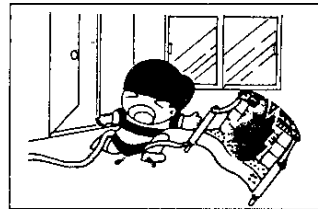
特に注意していただきたいこと②

使用場所についてのご注意

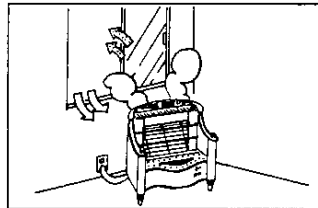
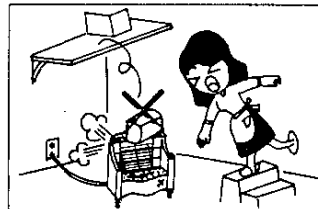
- 家具、壁、カーテンなど燃えやすいものや、引火性のものからは、じゅうぶんに離してください。
後の壁から5cm、横の壁から30cm、前方および上方向1m以内に家具、建具などのない安全な正しい位置を選んでください。
- 部屋の出入口など人の通るところや強い風の吹き込むところでは使用しないでください。
風で吹き消されたり、やけどや転倒の危険があります。



- たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。

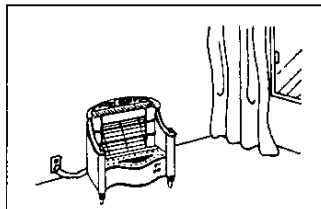


- 換気（給気、排気）が、じゅうぶんできる場所に設置するか、換気できるようなして使用してください。



特に注意していただきたいこと③

- 器具の設置はお部屋の元せん近くをお選びください。
ゴム管を長くすると、あやまってふんだりひっかけたりして、ストーブをひっくりかえすおそれがありますので、できるだけ、元せんの近くに設置してください。



使用上のご注意

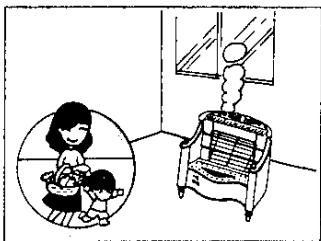
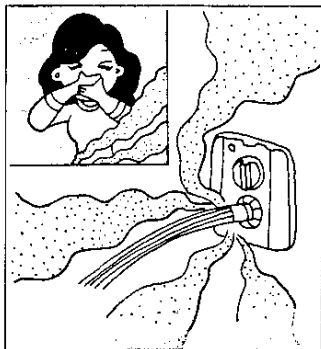
ガス漏れ予防

ゴム管は良質のものを用い、時々とりかえてください。

(ゴム管のあとりかえの目安は約3年です)

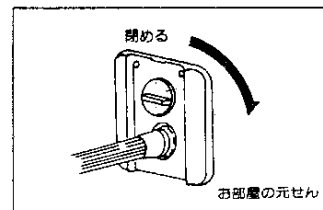
ゴム管が古くなりますと、お部屋の元せんやゴム管口から抜けやすくなったり、ヒビ割れて、ガス漏れの原因になり危険です。

- ゴム管は、ガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ストーブをご使用中は決して外出しないでください。



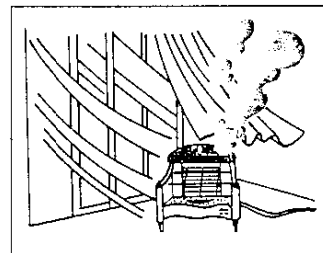
特に注意していただきたいこと④

- 器具をご使用にならないときや、外出前またはおやすみ前には、万一の事故がないように、必ずお部屋の元せんをしめてください。

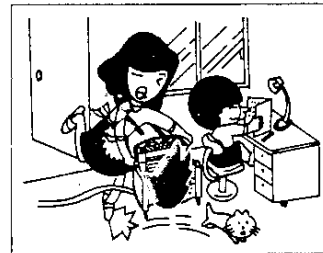


火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。



- 使用中は、火をつけたまま器具を移動させないでください。
火災や、やけどのおそれがあり危険です。

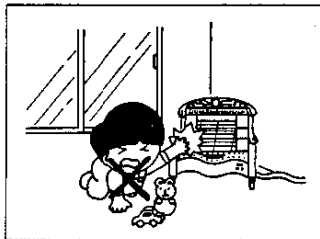


- 器具の中へ物を入れないでください。
器具の中へ物を入れますと、思わぬ事故のもとになります。物を入れないよう、入らないように注意してください。
万一物が入った場合はすぐに器具の外へ出すようにしてください。

特に注意していただきたいこと⑤

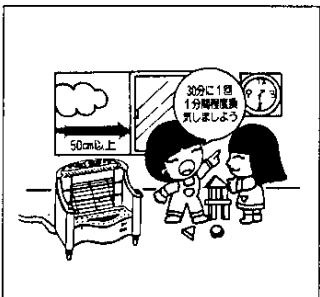
やけどのご注意

- ご使用中およびご使用直後は、器具本体と排気出口部、放熱部とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。
特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。
本体上部の部品は鋳物製です。ご使用後冷える迄時間がかかりますので注意してください。
- 器具の上には、なべやかんなどをのせないでください。
お湯がこぼれて火が消えたり、やけどをしたりするおそれがあり危険です。



換気のご注意

- ストーブを使用中は30分に1回1分間程度換気扇を回すか、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気をおこなってください。
しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。



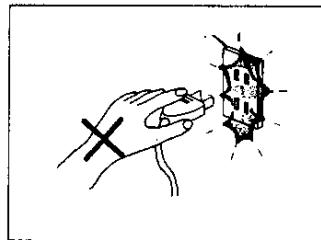
特に注意していただきたいこと⑥

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてお部屋の元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

<ご注意>

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。
スイッチの入・切や電源プラグの抜き差しなどの火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止（器具せん、お部屋の元せん閉止）してじゅうぶんな点検をお願いします。
〔故障・異常の見分け方と処置方法については16ページをお読みください。〕

日常の点検、手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行ってください。
〔点検・手入れの方法については14ページをお読みください。〕
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。不完全な修理は危険です。
万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

器具の設置

設置前の準備と確認

梱包材料の除去

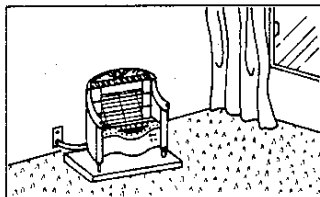
- ゴム管口のキャップを取りはずしてください。
ゴム管口には輸送、保管時におけるゴミ混入防止のためキャップがついています。取りはずしてご使用ください。
また、シーズンオフなど長期間ご使用にならない時に収納される場合は、ゴム管口にキャップをつけて収納してください。

使用ガスの確認

- 器具銘板の表示ガス（ガスグループ）とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

設置上のご注意（設置状態の確認）

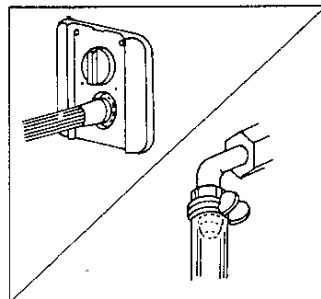
- 周囲に可燃物（木製の壁、たななど）のある場合は、じゅうぶん離れているところでご使用ください。
（詳しくは3ページ「使用場所についてのご注意」の項参照）
- 毛足の長いじゅうたんの上で使用する場合は、丈夫な不燃性の台にのせて使用してください。
- 設置したとき脚と床面とが合わない場合は、脚調節ネジ（後脚に組付けてあります）を調節し合わせてください。



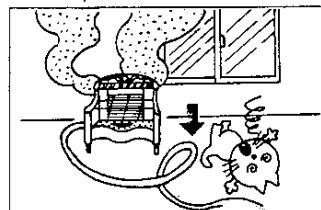
器具の設置②

ゴム管の接続

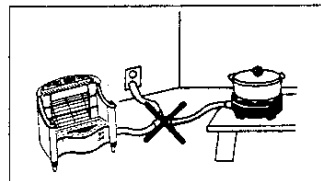
- ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりとめてください。
9.5mmφ(内径9.5ミリ)のゴム管を使用し、お部屋の元せん、器具せんともゴム管口の赤線まで、じゅうぶん差し込んでゴム管止めでしっかりとめてください。
ゴム管止めでしっかりとめていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあります危険です。



- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かく(3m以内)、器具の下を通したり、器具の高温部に触れないようにしてご使用ください。
器具の下を通したり、器具に触れていると、ゴム管が過熱して早く傷んだりして危険です。



- ゴム管の継ぎだしや二又分岐は行わないでください。
- ガスコード(強化型小口径ガスホース)は13A器具のみ使用可能です。



ゴム管のとりかえについて

- ゴム管は良質なものを用い、時々とりかえてください。
(ゴム管のおとりかえの目安は約3年です)
ゴム管が古くなりますと、お部屋の元せんや器具せんから抜けやすくなったりヒビ割れして、ガス漏れの原因になり危険です。

使用手順

点火前の準備と確認

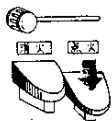
器具周辺の危険物などの点検

- ゴム管が器体に触れたり、危険なところに設置されていないか確認してください。

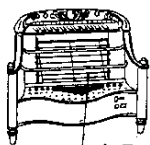
点火前の準備

- 器具せんの「止」を確認し、お部屋の元せんを全開にしてください。

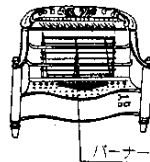
点 火



- ① 点火ボタンを途中で止めずに下へゆつくりいっぱい押し「パチパチ」と音がして点火します。



- ② 点火しバーナーに着火したことを確かめ点火ボタンから手を離してください。



- ③ 点火ボタンから手を離しバーナーの着火（バーナー表面が赤熱します）を確かめてください。

- 着火しなかった場合は、消火ボタンを一旦押し止してから点火の操作を①から繰り返し行なってください。その時、消火ボタンを押して1分間程待つてから点火操作を行なってください。（これは、フィックセッターをセットさせるのに必要な時間です）

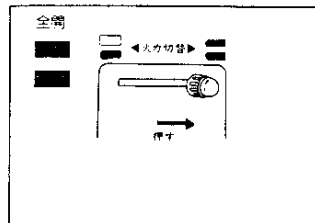
使用手順②

<ご注意>

- 点火の際はストーブに顔を近づけないでください。
- 購入後初めて点火するときや、シーズン初めに点火するとき、ゴム管に空気が入っていて点火しないことがあります。この場合は空気がぬけ点火するまで点火ボタンを押し続けてください。
- 点火初期に「ブーブー」と音がする場合がありますが、しばらくすると音はなくなります。
- 点火初期にバーナーの赤熱状態が、上下違う場合がありますが数分後にほぼ同じになります。
- 点火ボタンは、強く押ししたり、足で押さえたりしないでください。
- この器具は、常時燃焼型(常火式)/パイロットバーナーを採用していますので、器具をご使用中パイロットバーナーは燃焼し続け消火いたしません。

火力切替

- この器具は、点火と火力切替のボタンが別々になっています。
- 火力切替の時は「火力切替」ボタンを操作し行なってください。

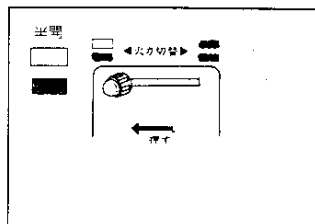


全開でご使用の場合

- 切替ボタンを右へいっぱい動かすと「全開」の状態になります。

<ご注意>

メインバーナーに着火し赤熱するのを確かめてください。



半開でご使用の場合

- 切替ボタンを左へいっぱい動かすと「半開」の状態になります。

<ご注意>

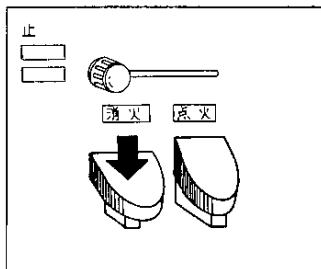
切替ボタンは、途中で止めないでください。また「全開」「半開」どちらの位置にあっても点火できます。

使用手順③

空気調節

この器具は各ガスの種類に合わせてあらかじめ空気調節をしてありますから点火したらそのままお使いください。

消火



- 消火ボタンをいっぱい押し込み消火してください。

<ご注意>

- 必ず火が完全に消えたか確かめてください。
- 消火後すぐにご使用になる場合は、1分間程待ってから点火してください。
- 長時間使用されないとき（就寝時・外出時など）は、器具せんを閉めるだけでなく必ずお部屋の元せんも閉めてください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

ご使用中にバーナーが消火してしまった時は、次の方法ならびに16ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

消火センサー

ご使用中にバーナーが消えたときには安全装置が働いて自動的にガスが止まり、生ガスの放出を最少限におさえます。

このような場合は、消火ボタンを押し、点火ボタンを止に一旦戻して、再点火してください。

転倒時ガス遮断装置

ご使用中に器具が転倒したり、激しい衝撃が加わった時に働いて消火し火災などを防ぎます。

このような場合は、消火ボタンを押してから器具を正しく設置し再点火してください。

不完全燃焼防止装置

ガスが正しく燃えるためには、ガスの6～10倍もの空気が必要です。しめきつた部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼して、一酸化炭素を発生する危険があります。（空気口がつまりでも同様です。）不完全燃焼する前に消火し一酸化炭素中毒を防ぎます。

このような場合は、消火ボタンを押してから、窓を開けるなどしてじゅうぶんな換気をした後、再点火してください。

- 異常な燃え方に気をつけてください。

使用中メインバーナーが、赤熱しないでゴーゴーと音をたてて燃える時は異常燃焼しています。

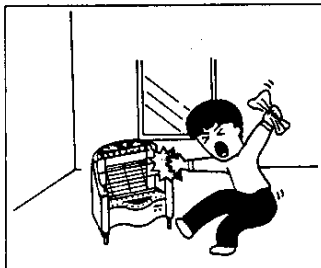
点火ボタンを止にいったん戻し、少し間をおいてもう一度点火操作をしてください。そのまま使用されると器具をいためます。

なお、異常な燃え方がなほなかつたときや火がつかなかった時はご使用にならないで（お部屋の元せんを閉めて）お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に連絡してください。

日常の点検・お手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけれられたときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具がじゅうぶん冷えてから行なってください。
- 器具内部の部品（ガス通路など）は絶対に分解しないでください。



点 検

安全にお使いいただくためにときどき点検してください。

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびお部屋の元せんともゴム管口の赤線までじゅうぶん差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。
- ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
- ゴム管が古くなって、ヒビ割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いてありませんか。
- ガードが正しくセットされていますか。
- 空気口にほこりがたまっていませんか。

お 手 入 れ

- 器体外表
やわらかい布をぬるま湯でぬらしてよくしぼってからふいてください。

<ご注意>

ベンジン、シンナーなど揮発性のものは絶対にご使用にならないでください。色があせませす。

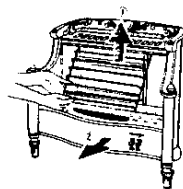
日常の点検・お手入れ②

お 手 入 れ

そ
の
つ
と

- バーナー周り
バーナー周りは、化粧ガードを取りはずしのうえ保護ガードをはずしお手入れしてください。お手入れを長期間しないとほこりがたまったり、変色したようになりますので欠かさないようにしてください。

・化粧ガードのはずし方
ガードを上へ持ち上げ手前に引いてください。



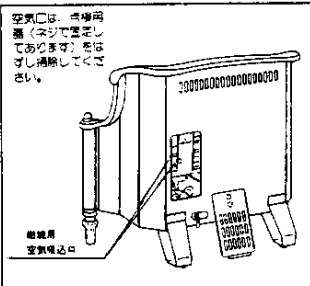
・保護ガードのはずし方
① ガードを上へ持ち上げる。
② 下を手前に引くとはずれます。

と
き
と
き

- 空気口
シーズン初めのご使用前およびその後一か月に1回程度、バーナー空気口(空気取り入れ部)にたまったほこりやごみなどを掃除機などで取り除いてください。

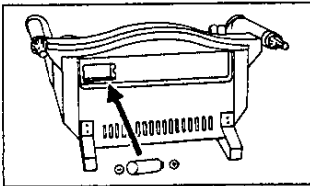
<ご注意>

器具内部の部品は調整しておりますので触れたり、変えたりしないでください。



部品の交換

- 点火用の電池は電池ケース（器具底面にあります）に正しくはめこんでください。電池は単1(1.5V)1個使用です。
- 点火ボタンを押すと「パチパチ」と音がして点火しますが、長期間ご使用になると乾電池の能力が低下します。「パチッパチッ」とゆつくり(1秒間に1~2回)音がするようになったら乾電池を交換してください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止してじゅうぶんな点検をお願いします。

原因	現象							処置方法	参照ページ
	点火しない・点火してすぐ消火する	点火ボタンが押しにくい	手洗器で消火する	ガスが漏れる	着火・火栓のトラブル	暖房が効かない	使用中に消火した		
お部屋の元せんの開け忘れ	○							器具せんを一旦閉じてからお部屋の元せんを全開にする	10
お部屋の元せんの開き不じゅうぶん	○	○			○	○			
ゴム管内に空気が残っている	○				○			ガスが正常に出るまで点火操作を繰り返す	10
ガス圧が適切でない	○				○	○		他の器具も同様の場合は点検を依頼する	-
ゴム管の折曲り・つぶれ	○	○			○	○	○	ゴム管をなおす	9
ゴム管のお部屋の元せんへの差し込み不足	○	○	○	○			○	ゴム管をじゅうぶん差し込む	9
ゴム管の差し込み部分の劣化・軟化	○	○	○	○			○	ゴム管を交換・先を切りつめる	9
点火ボタンの押力の不足	○	○						点火ボタンの押力を強くする	10
消火センサーが作動		○					○	点検・修理を依頼する	-
点火装置の故障	○								
炎検出部の汚れ		○					○		
乾電池の消耗	○							乾電池を取替える	15

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 16ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
 - 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご連絡ください。
- なおご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品名……(ガス赤外線ストーブ)
- (2) 品番……(例)
- (3) 現象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道順……(できるだけ詳しく)

(4) (7) 43-613 (U)

大阪ガス株式会社 **01**

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。
- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご相談ください。
- この場合、調整、改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

<ご注意>

この器具は一部のガスに調整改造できない場合があります。

転居先のガスの種類を確かめてからお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス支社にご相談ください。

保証書について

- この器具には保証書がついています。
- このガストーブは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

長期間使用しない場合

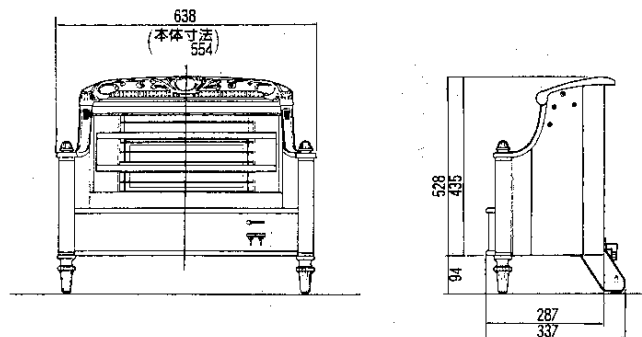
14ページの「お手入れ」に従ってお手入れし、ガス通路にほこりが入らないようゴム管口にキャップをつけてビニールカバーをかぶせ、ダンボール箱に入れて湿気やほこりの少ないところへ保管してください。

特 長

- 1** このストーブは、セラミックプレート式バーナーを採用しています。放射効率が高く加熱時間が短くてすみ、たいへん経済的です。
- 2** 消火センサー付ですので、万一バーナーの火が消えても安全バルブを閉じて生ガスの放出を最少限にあさえます。
- 3** 電池式連続放電点火式の採用とボタン式コントロールの採用により点火操作がソフトな感覚となりました。また点火も1回の操作で確実な点火が得られます。
- 4** 換気不足や、空気口つまりの時に、自動的に燃焼をストップさせる不完全燃焼防止装置付です。万一を考慮した安全設計です。
- 5** おちついたアンティークなイメージのデザインです。

寸法図と仕様一覧

寸法図



仕様一覧表

品 名		43-613
種 類	設置の形態	すえ置き式
	給排気方式	開放式
	加熱方式	放射式
外形寸法	高 さ	528mm
	幅	638mm
	奥 行	337mm
重 量		17.4kg
接 続		9.5mmφガス用ゴム管
点 火 方 式		連続放電点火式
暖 房 の 目 や す		8畳～12畳
安 全 装 置		消火センサー・転倒時ガス遮断装置・不完全燃焼防止装置
使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量
都市ガス用	6 A	3300 kcal/h
	6 C	3300 kcal/h
	13 A	3500 kcal/h